

日本が抱えるフードバンクの問題と解決策

仙台第三高等学校 D06 班

フードバンクについて



まとめ・展望

【日本】
 貧困のデータを公開していない
 = 国策として掲げていない

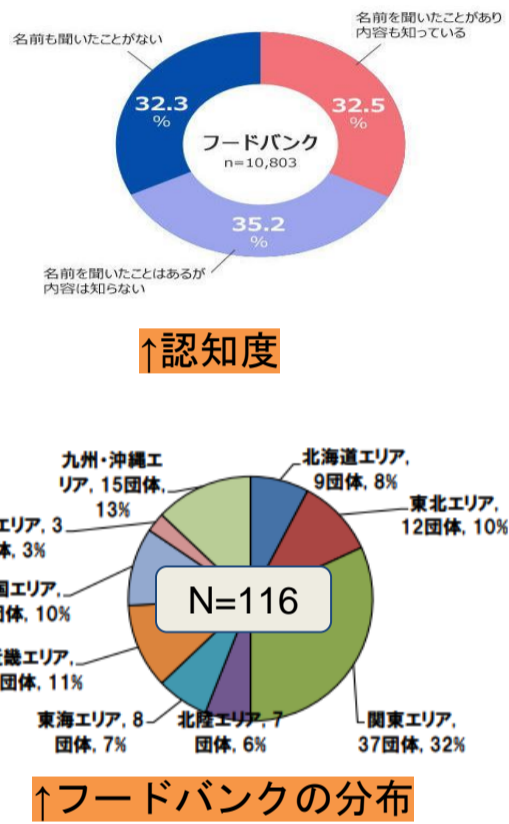
【イギリス】
 貧困問題をしっかりと国策としている
 = **ゴールが分かりやすく国民が動きやすい**
国が貧困に対して積極的になるよう、自分たちがフードドライブなどをして国の意識を変えていくしかない

日本のフードバンク

内容を知らない人がおよそ **6割**



組織の数がまだ少ない
 ↓
 食料が十分に供給されない!!



イギリスのフードバンク



フードバンク自体がライフライン
 ↓
 国民全員が認知している

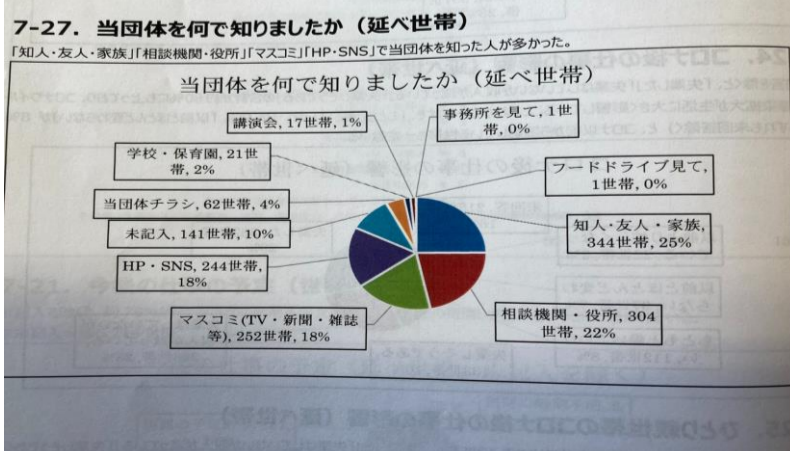
医療と連携
 ↓
 データの共有が可能

拠点の総数はおよそ2000
 ↓
 その分倉庫が充実しており大量貯蓄が可能

調査・実験の結果・考察

【フードバンク仙台さんの報告会より】

- ・ 認知度の低さ ➡ フードバンクをライフラインとしてあることを知らない。
 まず、役所に行かず生活保護を受けていない人がいる。
- ・ 助成金について ➡ 宮城県では県も市もフードバンク仙台に助成金を出していない。
 来年度から県から助成金は来るが市はまだ対応していない。
- ・ 専門機関 ➡ フードバンク仙台は弁護士と連携して相談窓口に取り組んでいる（フードバンク仙台のみ）。



決定打となるような広告媒体が存在しない
【提案】
 地下鉄やバスのチラシ広告

参考文献

- 明治大学 商学部 第45回 奨学論文
http://www.isc.meiji.ac.jp/~w_zemi/foodbank.pdf
 農林水産省
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/attach/pdf/foodbank-22.pdf